

# ANNUAL REPORT

2022—2023

ぱっぷすを応援してくださっている皆さまへ  
感謝を込めて



特定非営利法人ぱっぷす

Organization for Pornography And sexual exploitation survivors :PAPS

# 性的搾取に私たちの世代で

性的搾取とは、性的な目的のために、相手が脆弱な立場であることや相手との力関係、信頼関係を悪用すること（及び悪用しようとする）ことです。

相手を性的搾取することによって、金銭的、社会的または政治的な利益を得ることなども、性的搾取のなかに含まれます。※1

たとえば性行為の撮影が行われると本人の了承や同意なく、撮った映像を見ることや第三者に見せることが可能になってしまいます。

その結果、映像が販売されてしまい第三者に見られてしまうなど、自分自身の映像であるにもかかわらず

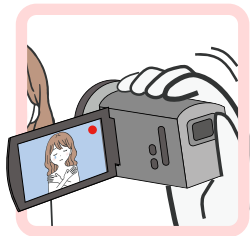
自身でコントロールができなくなるのです。つまり、映像の存在によってコントロールされるものという力関係が働きます。

これは性的搾取であり、性的同意※2が奪われた状態になります。性的同意が奪われて拡散したビデオには必ず被害が存在します。警察庁の発表の2022年の児童ポルノ事犯の被害児童件数は、1487人（前年度1458人）とあり、前年より増加傾向にあります。

※1 「性的搾取・虐待からの保護手段に関する国連事務総長告示」（2003）  
※2 性的同意（Sexual Consent）とは、性的な行為や発言を行う前にお互い望むことかを確認すること指します。

## 性的搾取とは？

性的搾取では大きく3つの性的同意が侵害されコントロールが奪われた状態になります。



性的な撮影



性行為



その両方

性的同意は、性行為の撮影や、撮影された映像を第三者に見られることも含まれます。性的同意が奪われて拡散したビデオには必ず被害が存在します。同意のない性行為の撮影や撮影された映像を第三者に見させることは犯罪です。

## 性的搾取を対処するための戦略基盤

女性と子どもの人身取引（性的搾取）を対処するための重要な戦略基盤として「5つのP」と「3つのR」が挙げられます。包括的な支援を行うために、ぱっぴすはこの8つの戦略基盤に基づいて活動しています。

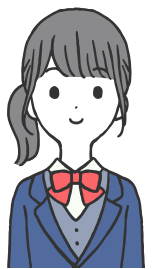
5つのP

- ✓ 保護 (Protection)
- ✓ 訴追 (Prosecution)
- ✓ 処罰 (Punishment)
- ✓ 予防 (Prevention)
- ✓ 促進 (Promotion)  
(国際協力の促進)

3つのR

- ✓ 救済 (Redress)
- ✓ 復帰 (Rehabilitation)
- ✓ 再統合 (Reintegration)

予防啓発をするだけ、法律をつくるだけでは性的搾取はなくなりません。5つのPと3つのRを同時並行に行うことが大切とされています。



(国連特別報告者ジョイ・ヌゴジ・エゼイロ氏 2009年7月12日より)

# 終止符を打つプロジェクト

ぱっぷすは性的搾取を生み出すサイクルを断ち切りたいと願っています。「自己責任」という言葉で被害者の口をふさぐ社会を変えていきたい。被害者の声をもとに性的搾取の実態を可視化することで変化をおこしたい。

2022年度は新規相談者1208人からの声を受け取りました。中学生や高校生など若年層からの相談が増えています。きっと、勇気を振り絞って相談し

てくれたのでしょう。見て見ぬふりはできません。私たちが何もしないほうが加害者には都合がいいからです。

ぱっぷすの活動は「性的搾取に終止符を打つ」というミッションの実現にむけて、共に歩み、応援してくれる多くのひとの支えで成り立っています。一緒にこの社会を変えていきましょう。

## ぱっぷすの活動内容

アウトリーチとは、支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し声掛けなどを行い福祉が積極的に働きかけて情報・支援を届けることを指します。削除要請とは、本人に代わって拡散した性的画像記録の削除要請を行うこと。アドボカシーとは、広報・啓発・政策提言などのことを指します。



アウトリーチ  
居場所支援



相談支援



性的画像の  
削除要請

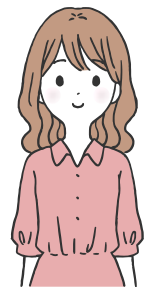


アドボカシー

## ぱっぷすに寄せられた高校生からの声

ぱっぷすは私の希望です。中学生のときから性を売らざる得なかった私には、この社会に居場所がなく、性的搾取から抜け出せるとは思えなかったけど、さまざまな出会いがあって、いまはあきらめ続けてきたことを取り戻し

ています。ニュースを見ると過去の自分を思いだす日もあります。悲しいというよりくやしい。なぜ性的搾取を容認する社会なんだろう。けど、頑張っているぱっぷすがいる。だから希望を感じることが出来ます。



## ぱっぷすスタッフの声

性は「尊重」するものではなく「消費」するものとして日本ではとらえられがちです。女性ですらそんな感覚の人が多いのではないでしょうか。知識もないまま性的搾取に巻き込まれ、被害にあうひとがまだまだ絶えません。日本の社会は性教育にも積極的ではなく、若者を保護しよう

という意味が感じられません。NPO組織や民間・個人が動かなければならない状況は先進国として異常だと考えます。私たちは性的搾取に立ち向かうことは途方もない取り組みのように感じますが「ここから変えていく」という意識で地道に活動し続けていきます。



# ぱっぷすがみた 2022年～2023年



## 高校生のAV出演解禁を止める！AV法制定

AV出演被害を受けた多くの相談者から「同じ被害を減らしたい・食い止めたい」「再販される恐怖におびえる生活が続きます」という声が上がりました。AV被害の本質とは、撮影時における性暴力被害もありますが、公表され拡散され続けることでの生きづらさや苦しみです。そこで、①契約の解除ができること、②公表・拡散しても販売停止や削除ができることが必要でこういった制度を強く求めてきました。

2022年3月23日に、ぱっぷすとHRN（ヒューマンライツナウ）と共同で「高校生AV出演解禁を止めてください」という国会議員・メディアに対するキャンペーンを展開しました。その後の国会質疑において被害者の声を読み上げられたことで政治が動き出し、2022年6月23日に「AV出演被害防止・救済法」の制定に至りました。



衆議院厚生労働委員会参考人招致

## 相談件数の急増への対応 セクストーション（性的脅し）

2022年度は1208人からの新規相談がありました。継続的な関わりが必要な相談者もいるなかで、新規相談が前年の1.9倍に急増したので、対応するために奮闘しました。特筆すべきこととしては、AV出演被害に関する相談が128件もあったことです。国内外からの相談に対応できたのは、スタッフの献身的な努力とこの活動を支えてくださる関係者や寄付者のおかげです。最近の傾向としては、セクストーション（性的脅し）の被害相談が増加していることです。SNSなどで知り合った人物から、巧みな言葉で性的な画像や動画を送信させてから、性的な動画を知り合いにバラまくと脅してお金などを要求するなどがあります。女性のみならず男性からの被害相談も寄せられています。若い男性をねらった組織的な犯罪の可能性もあるため、啓発するための広報に力を入れました。



インタビューに応じるぱっぷすスタッフ

## 組織基盤の強化

ぱっぷすに寄せられる相談の多くは長い関わりを必要とするものです。寄せられる相談に対応しつづけるためにスタッフを増やし組織の規模を拡大しつつあります。2022年度はPanasonicの「NPO/NGOサポートファンド for SDGs」助成を受けられたことで、組織基盤の強化を着実に進められました。具体的には、事務局体制の強化、スタッフの労働環境の整備、

中・長期目標の設定、ファンドレイズ強化などです。会計や労務の専門職と契約して事務局機能を強化したり、ミッション実現のための中長期目標の作成、事業計画のプロセスを策定を行いました。今後の課題としては情報発信の強化に取り組みたいと思います。



税理士・社労士による財務確認の様子

## 性的搾取から女の子たちを守る（アウトリーチ・居場所拠点整備・宿泊施設の整備）

性的搾取から女の子を守るために、繁華街でのアウトリーチや居場所の提供、通院や役所への同行支援、生活再建のための自立支援を行ってきました。この活動は東京都の若年被害女性等支援事業として 2022 年までは東京都からの委託事業として、2023 年は補助事業として、受託しています。これらの活動で出会った女の子の多くが複合的な困難を抱えており、虐待や性暴力の被害にあっているため安心・安全に宿泊できる宿所の必要性を感じていました。2023 年夏には念願の短期宿泊施設をオープンすることができました。



おしゃれなドレッサー



クリスマスパーティ



スタッフと一緒に履歴書作成

## 被害者の声を司法に届ける（グルーミング罪・性的撮影罪）

2021 年夏には NHK の取材班と協力して SNS での性的グルーミングの実態調査を行いました。「14 歳の女子児童」という設定で SNS にアカウントを開設したところ、たった 2 か月の間に 200 人近い男性から性的な目的のメッセージが寄せられました。多くは「会いたい」「性行為をしたい」という内容でした。この実態調査に加えて、相談者の声から見えてきた法的な課題について 2021 年 11 月に法制審議会にて現状を報告し、性的撮影罪の必要性・グルーミング罪の必要性を訴えました。2022 年以降は他の支援団体とも協働し、2023 年 7 月の面会等要求罪（グルーミング罪）と、盗撮を取り締まるための性的姿態等撮影罪（撮影罪）が成立しました。



2021 年 12 月 15 放送 NHK「クローズアップ現代+」

## 私たちの声を届ける（講演活動・書籍の出版・表彰）

### 講演活動

ぱっぷすでは、誰もが被害者にも加害者にもなり得るものであり、どの場所でも起こりうるという認識のもと、学校や教育現場での講演、教員向けの講演。海外のシンポジウムの基調講演もしています。特に、加害者にならないための教育は、被害にあったときに正しい対処ができるようになることから被害予防にも繋がります。社会の仕組みを変える取り組みとして、学校などへの出前講座の開催や政策提言などのアドボカシー活動も行っています。



### 書籍の出版

2022 年 6 月に岩波書店より『ポルノ被害の声を聞く デジタル性暴力と #MeToo』を出版しました。低年齢化・深刻化するポルノ被害について、これまで埋もれてきた被害を掘り起こしていく内容でネットを通じ世界規模の産業となっている性暴力の商品化に私たちはどう向き合うのかを解説しています。



### 表彰

公益財団法人 社会貢献支援財団より「第 57 回社会貢献者」として表彰していただきました。表彰状には、デジタル性暴力に関する私たちの相談支援や削除要請、アウトリーチの活動に触れて「性的搾取の実態について調査し、社会に広く伝え、社会課題の解決を求める啓蒙活動を続けています。あなた方の功績をたたえ、これを表彰します」と記してありました。ぱっぷすでは、ひきつづき、性的搾取に終止符を打つために取り組んでいきます。



# 夜のアウトリーチ事業

アウトリーチとは、支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し声掛けなどを行い福祉が積極的に働きかけて情報・支援を届けることを指します。

2022年4月  
から1年間に  
声をかけた若年女性  
**4281人**  
合計106回

違法スカウトに勧誘されていた女の子に声をかけて安全確認中



① 会いに行く



② 知ってもらう



③ とどける

東京都内の繁華街において週2回のアウトリーチ活動を実施しています。開始して2年、さまざまな背景のある女性たちと関係を構築できつつあります。ご自身の想い、経済状況、心身の健康状態の不安、仕事や対人トラブルなどの悩みについてお話を伺うことを大事にしています。特に台風や雪などの天候の悪い日ほど、より困難な状況にある女性と出会う傾向があります。気がかりなのは、性病や感染症のリスクを抱えている女性が多いことや、国民健康保険に加入していないために医療にかかることを恐れる女性が多いことです。路上で出会う女性のSOSをキャッチするために地道なアウトリーチ活動を続けています。

夜のアウトリーチ・オンラインアウトリーチから繋がる支援は、東京都若年被害女性等支援事業の補助金と不足分は皆様のあたたかい寄付金を財源にして実施しました。

# アウトリーチから夜カフェにつなげる

アウトリーチで出会う若年女性の多くは、家に帰れない、家があっても親から逃げてきた子どもたちでした。継続して関わると、多くは、死にたい・消えたい・価値がないと訴えます。気がまぎれ、不安を打ち消すために繁華街に集まります。そこでは、自傷行為やオーバードーズ（薬の多量服用）をします。未成年であっても飲酒や喫煙もするしホストクラブ・メンコン・地下アイドルにも通います。生きづらさを紛らわせるために何かに大きく依存して生きながらえていました。ぱっぴすでは、ホームリダクションの観点から、アウトリーチで出会った女の子たちに対し、夜の居場所（夜カフェ事業）につなげています。ホームリダクションとは、依存をやめさせるのではなく、ゆっくりと関係性を構築していきながら、今の生きづらさの解消と依存の軽減を求めていくアプローチです。

## オンライン・アウトリーチ事業



Tiktokに掲載したショート動画

2022年4月  
から1年間X(Twitter)  
での声掛け

2952件

Yahoo 知恵袋  
での声かけ・情報提供

171件

オンライン上でのアウトリーチでは、X（旧：Twitter）やYahoo！知恵袋などで、デジタル性暴力にまつわる悩みを抱えているひとへの声かけと情報提供を行いました。「性的な画像を送ってしまった」「拡散されるんじゃないか」「悪用されたりしないか」「とにかく不安だ」という悩みが多く見られます。匿名だからこそ不安を吐露できるオンライン・SNSを見回することで、ぱっぴすの相談窓口を案内し、そこから連絡を受けて相談支援に繋がられるよう工夫しています。Tiktokを活用し

た動画のアウトリーチも行っています。

今期は円安も相まって、アメリカ、オーストラリア、カナダなどへ仲介業者を通して行き、現地の性産業で一定期間仕事をして帰ってくる働き方をすすめる“海外出稼ぎ”と呼ばれるアカウントが多く目に付きました。それらの投稿内容を分析すると、多くがホスト業界とのつながりがあるようでした。今後は、このようなものに巻き込まれている女性に対するより効果的なアプローチの仕方について模索していく必要があります。

### Yahoo! 知恵袋を活用したオンラインアウトリーチの分析結果について

Google アナリティクスを使って分析したところ、2021年6月から2023年3月31日までYahoo! 知恵袋を経由した当団体のHPへの訪問数は4671名でした。Yahoo! 知恵袋を見て相談につながった事例も複数確認しており、オンラインアウトリーチの有効性を得ることができました。

# 相談支援事業

## 性的搾取にまつわる相談とは

- アダルトビデオ (AV) 出演について
- 性の売買・性風俗関連特殊営業
- リベンジポルノ
- 児童買春 (援助交際)、児童ポルノ
- 児童の性を対象にしたビジネス
- アダルトチャット
- 性的盗撮 など



SNS で知り合った人と、きわどいやり取りを『今までのやり取りを晒されなくなかったら、私を送れ』と脅された。親には知られたくない

もう AV の撮影に行きたくない。けど、辞めさせてもらえない



## 相談のながれ

### ①アウトリーチ

### ②相談窓口

### ③初回相談～



### ④チームで



こんにちは



もしもし



繁華街へ直接出向いて声かけを行ったり、SNS を活用して積極的に相談窓口に関する情報を届けています。



24 時間 365 日

初回面談では、「本人がどうなりたいのか」を大切にしながら「相談者の願いや望み」を一緒に整理します。また、被害経験や心境の変化などをまとめた相談ノートを作成します。これは弁護士や警察など、外部へ相談する際、相談者が同じことを何度も伝える必要がないようにするためのものです。

ぱっぷすでは、社会エンジニアなど、弁護士がチームを組んで専門技術を活用して、なげます。

## 2022 年度の相談人数

新規 1208 人  
継続 355 人

### 新規相談の内訳

性暴力・デジタル性暴力	913 件
AV 出演被害	128 件
性風俗関係	97 件
その他	106 件
<small>(金銭トラブル、ホスト関連、性的搾取への未然予防など)</small>	

※内訳は、複数の主訴が重複している場合あり

## 不安に寄り添い心の交通整理をする役割です

相談するにあたって、本人が心配していることを併せてお話いただき一緒に考えます。たとえば児童の場合「相談すると親に知られてしまうのではないかと心配される方が少なくありません。多くの児童が「保護者には心配をかけたくない」という思いから、親に報告されるのではないかと恐れて相談を躊躇しているようです。実際に、高校生のときに被害を受けたものの成人するまで時間を要し、誕生日の翌日に相談に来た方もいます。ぱっぷすは本人の意思に反して保護者に話すことはありません。大切なのは「保護者に相談したらどうなるのか、何ができるのか」を本人にわかりやすく伝えて、その意味を理解してもらおう作業だからです。結果、保護者を巻き込んで無事解決できたこともあります。また警察へ行くことは、児童だけでなく、大人にとっても非常にハードルが高いものです。事前に本人の心配事を聞き「警察に相談するとどうなっていくのか」を説明して一緒に考えるなど、相談しやすい気持ちになれるよう心の交通整理を行います。





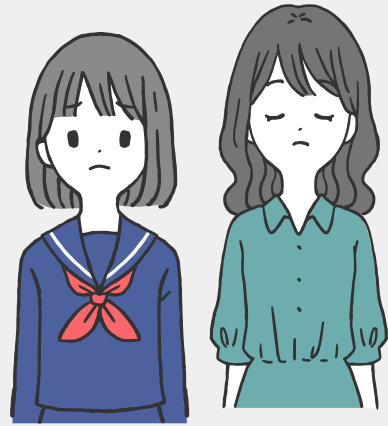
2022年度は赤い羽根福祉基金「デジタル性暴力・性的搾取にまつわる相談支援事業」の助成を受けデジタル性暴力の相談支援活動の実施ができました。

裸の写真  
を  
している

撮影された動画が同意していない  
サイトで販売・公開・拡散されている。

一般的な動画配信の仕事だと思ってアルバイトに応募したが、  
事務所の人からは性的な配信（アダルトチャット）をすることが  
前提で話を進められている。

AVに出演したことが同級生に知られ  
てしまった。もう学校に通えない。



## 支援



## ⑤ 同行・交渉



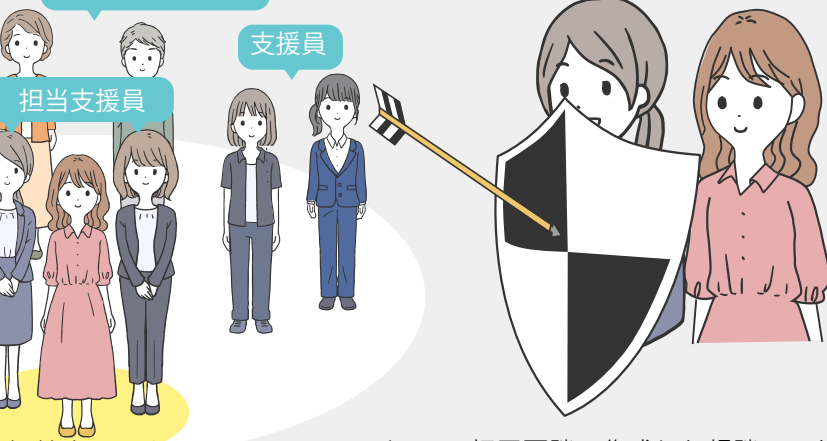
## ⑥ フォローアップ



スーパーバイザー

支援員

担当支援員



福祉士、カウンセラー、ICTに強い  
弁護士、医師など多様な背景をもつスタッ  
クが支援にあたります。それぞれの専門知識  
を活かして相談の質を向上させ、主訴の解決につ

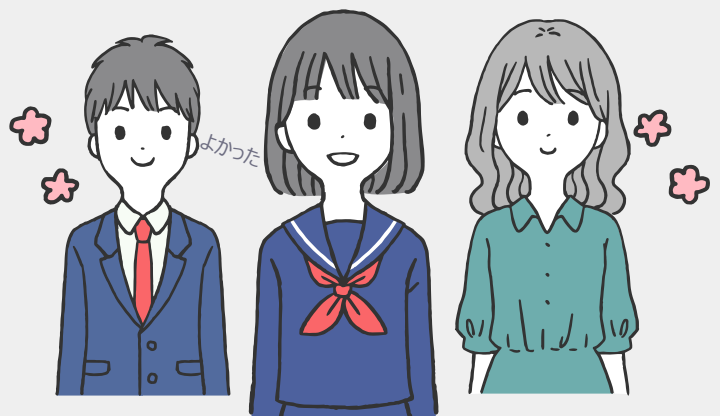
初回面談で作成した相談ノート  
をもとに弁護士・警察・福祉窓  
口などに一緒に同行します。また  
相手が個人や事業者の場合は  
相手と交渉を行い、相談者の願  
いや望みの実現を目指します。

たとえばアダルトビデオに関する相談の場合、最初の願  
いは「販売停止をしたい」だけだったとしても、面談を  
重ねていくと「サイトに無断で転載されている動画を消  
したい」「周囲に動画がバレて生活に影響が出るのでは  
ないか」など様々な願いや思いが見えることがあります。  
そのためばっばりでは削除要請を行ったり、面談や電話  
メールで相談者のフォローアップを行っています。

## 個々の状況に合わせた支援

相談者の環境や人間関係などは人それぞれで  
す。支援をワンパターン化することはして  
いません。たとえば「AV出演をやめたいけれ  
どやめられない」という相談の場合その裏に  
は、相談者自身が貧困状態で居場所がない  
パートナーに暴力をふるわれている、学校で知られ  
てしまって通いづらいなどの悩みがあることもめ  
ずらしくありません。そのため最初の願いのみならず  
このような付随した悩みも一緒に本人と一緒に考え  
ます。なぜならAVの出演をやめられたとしても  
「重大な悩み」が解決するとは限らないからです。  
相談の多くは1日で解決するものではありません。  
1つずつ本人の願いや思いと向き合っていくため、  
支援は長期にわたることもあります。

## ⑦ 主訴の実現



# 若年女性のための夜カフェ事業

赤い羽根共同募金「居場所を失った人への緊急活動 応援助成」により初期費用の助成を受けオープンできました。

キリン福祉財団 居場所拠点でのソーシャルワーク開発について キリン福祉財団の助成により実施できました。

2022年4月  
から1年間  
来所者数延べ  
**199人**  
合計**50日**

アウトリーチ活動を通じて安心・安全な居場所と宿泊設備の必要性を感じました。2022年7月に居場所となるスペースの提供をはじめました。

私たちの居場所に来るのは10代～20代前半の女性が多く「義父から性的虐待を受けている」「親は自分に興味がなくネグレクト（育児放棄）されてきた」「過干渉すぎる親から教育虐待を受けてきた」などの事情から「死にたい」という気持ちをさまざまな形で表現する若者たちです。福祉の支援についてトラウマを感じている若者も多く、児童相談所や女性相談センターの一時保護について「集団行動を強いられる」「スマホが使えないなんて無理」「刑務所みたいだった」など苦痛を感じていることも把握しています。

こうした若者は不良行為少年として街頭補導の対象になるなど、地域社会から排除される傾向があります。行き場を失うなかで窃盗集団、特殊詐欺、違法なメンバーの勧誘、性暴力被害などに巻き込まれています。若い女性の場合には、買春の相手方にならなければ生活の維持ができないという思いにとらわれていることもあり、彼女・彼らの思いに寄り添いながら共に時間をすごすことを大事にしています。

## 夜カフェの必要性

繁華街が生活拠点や夜を過ごす子ども・若年女性にとって

- ①繁華街にいてもお金がかからない場所
- ②夜危険を感じたときに逃げられる場所
- ③思いがけない妊娠・性感染症に対する対応
- ④のんびり・ほのぼのの仮眠がとれる場所
- ⑤相談ではない話し相手がいること
- ⑥女性ならではの話（妊娠、性感染症）ができる

居場所（夜カフェ）にいることで  
性を売らなくても済む



メイクOK

更衣室あり

Wifi 無料



ヘアアイロン

スマホ充電



シャワーも  
あるよ

女子のための  
カフェひつじ  
からのおねがい

- ここでは、
- ・ お酒🍷は飲まないでね
- ・ お金💰の貸し借りしないでね
- ・ あっせんしないでね
- 発熱・咳があるひとは事前に連絡してね



にんしん検査



生理用品

感染症  
検査キット



ごはん

洗濯乾燥OK

# 若年女性のための宿泊施設

2023年8月  
開所から2ヵ月で  
延べ

65泊  
10人利用

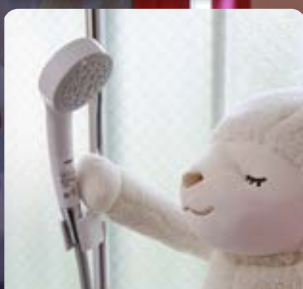
## 宿泊施設の必要性

2022年12月、繁華街でその日暮らしをしている若年女性から「このまま野宿したら凍死するかもしれない」と差し迫った訴えから、翌年3月まで夜カフェにて宿泊支援を実施しました。宿泊利用者の多くは、これまで児童相談所・公的機関につながるも、本人の求める支援や安心感を得られない経験をして、繁華街にたどり着きさまざまな危険と隣り合わせとなる場所で生活してきた女性たちでした。

ぱっぷすでは、宿泊支援の必要性を痛感し、都内近郊に宿泊施設を準備し、2023年8月から開所することができました。女性たちが少しでもすごしやすくするために、利用者さんと一緒にペンキを塗りました。宿泊施設では性的な搾取や性暴力の被害にあわずに自身の心身の健康を守ることができる場として希望を持てる場所にしていく予定です。

宿泊施設では、ドミトリー4人+個室1人の計5人が宿泊できる体制にしています。宿泊施設の運営にはかなりの予算が必要です。みなさまの支援を必要としています。

### 宿泊施設の利用設備



シャワー



ダイニングキッチン



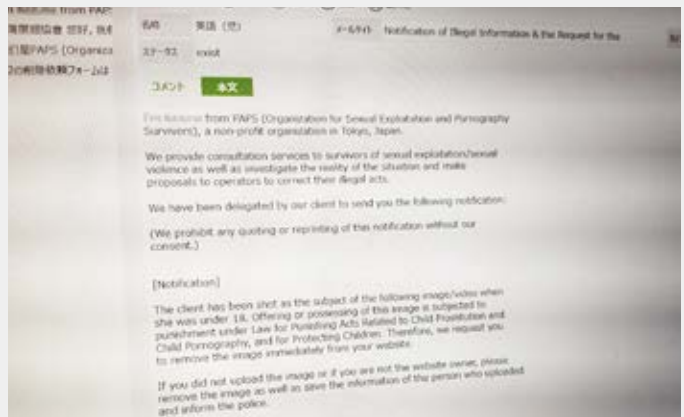
キッチン



洗濯乾燥機

## 意に反して拡散した性的画像の削除要請事業

性的な画像記録が拡散されたときの被害及び名誉回復の手段としては、インターネット上に拡散した動画や画像等の削除要請を行う必要があります。現行の制度では被害者自身が当該画像等を探し出して、関係機関やプロバイダーに削除要請をする必要がありますが、自らネット検索し、これらの画像や動画を探し出すことは、自身の性的画像だけではなく、他の性的画像を見ることになり、二次被害になることから、当団体では相談者に代わって削除要請に関わる支援をしています。



児童ポルノ通報時のメール送信画面

2022年度の削除要請の総件数は1万8236件、内訳は、「サイトに対する削除要請件数」が1万6121件、「キャッシュ削除」が2205件でした。(サイトに対する削除要請の対応結果は、右表の通りです) AV被害防止救済法が2022年6月23日より施行されたことに伴い、削除要請の方法を見直し、日本に存在するサイトは削除に応じることが増える結果を得ることができ、これまで応じることがなかったブログ運営事業者も対応するようになりました。多くのアダルト動画サイトでは、動画データは別のストリーミングサーバーやクラウドストレージサービスに投稿されているため、動画データが置かれているプロバイダーに対して削除要請を行うことは、私たちの削除要請に応じないサイトであっても動画を再生できないようにすることができ、相談者の主訴の実現につながってきました。

要請方法の効率化・要請するスタッフの負担軽減の観点からAI(顔認識・畳み込みニューラルネットワーク)によるアダルト動画投稿プラットフォームの定期的巡回など被害者の肖像を自動的に探すシステムを随時開発しながら進めています。

### 2022年度の対応結果

削除要請 16,121 件のうち

全て削除	8600 件	53.3%
一部削除	1319 件	8.1%
現存	6114 件	37.9%
保留	88 件	0.5%

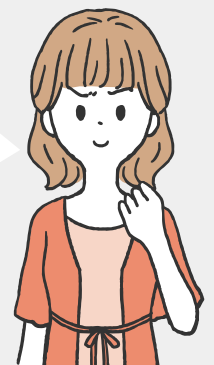


AI(顔認識・機械学習)を活用して当該画像検索システム

## 削除要請スタッフからのメッセージ

想像をはるかに超えるアダルトサイトのページ数の多さ！要請をしても消してもらえない！！やっとな消えても、数カ月すれば再びアップされ新たなアダルトサイトがまたでできたりしている。こういった現状に絶句しました。無修正の動画は、撮影者の顔だけが隠されています

が、違法だとわかって撮影している撮影者に憤りを感じています。こんな人たちの利益のために、いったい女性たちは搾取されているか！もっと現状をみなさんに知ってもらい、こんな状況を早くなくしたいと日々思っています！



## メディア取材対応



性的搾取の現状について多くの人に知ってもらうために、可能な限りメディアの取材を受けることにしています。また私たちの見てきた性的搾取の実態を説明するためにメディアの方に対して事前に記者レクチャーも行っています。

## 国際連携

特に東アジアの韓国や中国・香港・台湾の団体と連携し、性的搾取・デジタル性暴力の問題に、ともに取り組んでいます。



2023年9月12日に台湾で開催されたOnline(Digital) and Technology-Facilitated GBV (デジタルGBV)に関する国際会議に参加

## 相談者への広報



相談者向けのランディングページを作成し、ネット検索結果からすぐ必要な情報にアクセスできるように最適化しました。

<https://hotline.paps.jp>



## 講演活動

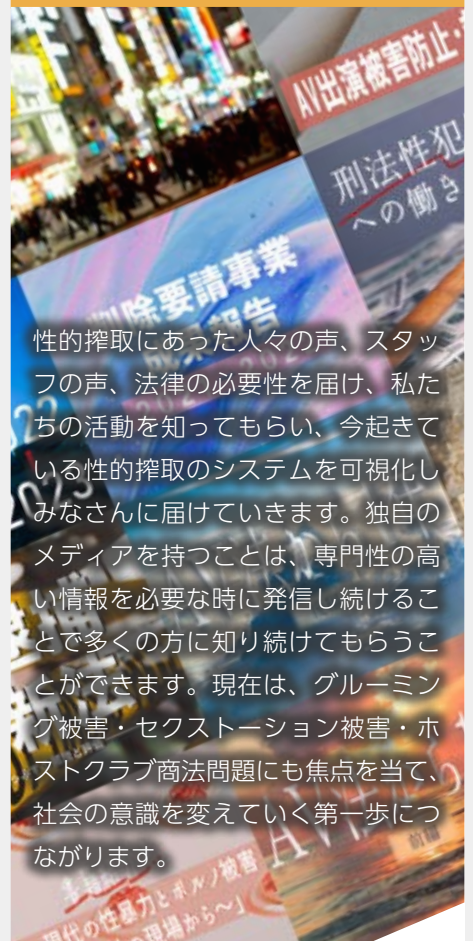
デジタル性暴力・性的搾取にまつわる内容の講演を学生、教職員・保護者向けに2022年度は計30回以上行いました。スマートフォンの急速な普及に伴い、子どもたちを取り巻くネット環境は劇的に進化しています。

これまでとは異なる性暴力被害が起きており、被害者も低年齢化していることから、被害予防にとられず、最新の加害傾向や、加害予防教育・バウンダリー教育の重要性について説明し、普及に努めました。

## リーフレット配布



## 独自のメディア発信



性的搾取にあった人々の声、スタッフの声、法律の必要性を届け、私たちの活動を知ってもらい、今起きている性的搾取のシステムを可視化しみなさんに届けていきます。独自のメディアを持つことは、専門性の高い情報を必要な時に発信し続けることで多くの方に知り続けてもらうことができます。現在は、グルーミング被害・セクストーション被害・ホストクラブ商法問題にも焦点を当て、社会の意識を変えていく第一歩につながります。

## 動画配信



若年層へのアウトリーチの一環として、性的搾取にあわないための啓発動画を作成し、SNSに配信しています。

## 政策提言・アドボカシー活動



ワンツー議連のみなさんと一緒に撮影

ぱっぱすは、刑法改正市民プロジェクトに所属し、国会議員の方に性的搾取の被害を受けられた方の声を届け政策の反映に生かしてもらおう活動をしています。

現在は、①「悪質！ホストクラブ商法」②「路上スカウト対策」③「セクストーション（性的脅し）」④「出演被害防止救済法」の被害救済の問題を立法院に届けています。

## ぱっぷすのビジョン & 代表挨拶

いつもぱっぷすの活動に多くのご支援、ご助力をいただき、心より感謝を申し上げます。性的搾取・デジタル性暴力を専門にしている相談窓口は日本国内にはぱっぷす以外に見当たりません。公的な相談窓口でも、相談内容別の対応のために、若年層がたどりつきにくい構造が存在します。こういったことから性的搾取が横行する社会の中で私たちが果たす役割は重要なことだと思っております。



### なぜ性的搾取はなくなるのか？

「セックスは買える」という考え方は様々なメディアを通じて社会に浸透しています。性を買うことが寛容な社会では、それが犯罪であっても被害者にとっては自己責任として扱われ、被害を訴える力が奪われていきます。反対に加害者は逮捕されるリスクが低くなり、新規参入者も増えて性的搾取が横行していきます。その結果、性的搾取に関連した巨大な利権構造が作り出されていきます。一方で、性的搾取の構造の犠牲になりやすい多くの女性に対しては、子どもの頃から様々なメディアを通じて、性は幼いほど売りものとしての価値があり、露出をするほど価値が高い、性的な商品としておとしめられることを幼いうちから体験的に学習をさせられています。そのなかで、子ども・若年女性たちが社会に希望を持てなくなった瞬間や、社会とのつながりを見いだせずに居場所を失う瞬間を、性的搾取をする人たちは見逃しません。現在、18～20歳前後の若年女性の弱みに付け込み、多額の借金の返済のために、管理売春・性風俗関連特殊営業の斡旋やAV出演の斡旋をさせる事業者がいます。これらは違法行為ですが、証拠が残らないために、そのほとんどが処罰されません。

2023年の報道発表においても、被害に関連した集団暴行・傷害致死事件なども発生し、組織犯罪の温床にもなっています。被害女性の中には自死された方もいます。2022年4月からの成人年齢の引き下げに伴い、18歳19歳の若年女性が狙われています。正直、若年女性の福祉は性的搾取をするひとたちの数に敗北しています。

### 不利な条件を乗り越えていくために

性的搾取が横行することにより、経済的な損失も計り知れないと考えます。犯罪収益でいえば、拳銃やドラッグは、一回しか売買できませんが、性は何度も繰り返し売ることができ、それに関わる者たちは荒稼ぎできてしまいます。最近では、警察庁によれば暴力団や匿名・流動型犯罪グループの関与の可能性があると見て、取り締まりを強化していますが、性的搾取を直接取り締まる法律がないことや、たとえ法律に抵触していたとしても、取り締まりの対象になったとしても、立証が困難なケースとなることが多く逮捕されにくい現状があります。そのため、性的搾取に手を染める人は一向に減らない問題もあります。



2022年度は、若年層からの相談が急増で多忙を極めたましたが、同時に、AV法成立に関わることができました。しかしそれ以降、ぱっぷすへの組織立ったネガティブキャンペーン（誹謗中傷）が行われました。性的搾取の課題に取り組むことはネガティブキャンペーンが付きものと考え、徐々に性的搾取の核心に近づいてきたものにとらえ、多くの方の支援を受け組織基盤の強化をする機会にも恵まれました。ぱっぷすはこれからもパワーアップしていきます。性的搾取に終止符を打つために、心温かなご支援いただけますよう宜しくお願いします。

ぱっぷす 理事長 金尻カズナ

# ぱっぷすの会計報告

2023年度は寄付金額・助成金額が大幅に減少しました。その理由のひとつには、女性支援団体に対する誹謗中傷やネットでのバッシングがあげられます。事務所やシェルターの場所を晒されたり、さまざまな形で活動を妨害されましたが、そんな中でも相談は急増しています。寄せられる相談に対応していくには、2024年3月までにご支援が3000万円が必要です。

**国内で唯一の性的搾取・デジタル性暴力の相談支援は絶対に続けていく必要があります。**

みなさま、相談支援活動の**維持継続のために、ぱっぷすにご支援**いただきますようお願いいたします。

ご寄付の仕方につきましては、裏面をご参照ください。

## 2022年度

## 2023年度予測

科目	金額 (単位: 円)		
	2021年度	2022年度	2023年予測
<b>経常収益</b>			
正会員受取会費	21,000	123,000	123,000
賛助会員受取会費	1,011,100	0	
受取寄附金	6,860,463	21,198,198	<b>14,278,562</b>
受取助成金等	56,380,000	58,584,000	<b>43,624,000</b>
講師派遣等	1,263,156	2,163,057	<b>700,000</b>
書籍販売	0	30,440	0
受取利息	45	19	0
雑収益	185,797	236,255	300,000
<b>経常収益計</b>	<b>65,721,561</b>	<b>82,334,969</b>	<b>59,025,562</b>
<b>経常費用</b>			
<b>1 事業費</b>			
給料手当	33,133,525	37,282,487	<b>41,663,642</b>
役員報酬			
退職給付費用			
法定福利費	2,375,754	3,532,605	6,429,997
通勤費	1,074,567	838,965	1,252,453
福利厚生費	12,149	35,578	12,992
扶助費		475,347	200,000
食糧費		763,816	765,753
設備費	165,000	350,000	
業務委託費	10,988,693	5,741,905	<b>5,015,148</b>
謝金	577,609	421,150	245,813
印刷製本費	127,787	115,689	90,553
会議費	324,655	248,317	241,228
旅費交通費	422,883	1,026,696	1,132,561
通信運搬費	914,669	972,897	1,456,301
消耗品費	6,128,069	4,167,425	3,532,058
水道光熱費	422,271	1,140,550	876,791
地代家賃	2,694,051	4,317,600	4,697,600
減価償却費	858,266	907,400	907,400
保険料	61,530	10,000	199,974
租税公課	28,250	20,000	14,750
研修費	1,000	16,500	80,220
支払手数料		774,786	122,470
新聞図書費	2,990	16,292	21,890
広告宣伝費	165,000	162,958	498,890
雑費	524,025	102,830	17,600
<b>事業費計</b>	<b>61,002,743</b>	<b>63,441,793</b>	<b>69,476,084</b>
<b>2 管理費</b>			
役員報酬			
給料手当	1,408,838	1,794,750	3,288,780
福利厚生費		9,550	24,552
通勤費	41,664	63,570	76,493
業務委託費	246,730	165,000	561,000
旅費交通費	336	5,272	
通信運搬費	909	84,250	
消耗品費	9,469	72,747	
地代家賃	530,000	180,000	180,000
租税公課	17,356	202	22,900
支払手数料	1,067,063	25,202	1,133,849
広告宣伝費	200	2,178	0
雑費			
<b>管理費計</b>	<b>3,322,565</b>	<b>2,402,721</b>	<b>5,287,574</b>
<b>経常費用計</b>	<b>64,325,308</b>	<b>65,844,514</b>	<b>74,763,658</b>
法人税	70,000	70,000	
前期繰越正味財産額	9,707,332	11,033,585	
次期繰越正味財産額	11,033,585	27,454,040	

**受取寄附金**  
NPO法人ライトハウス解散に伴い1000万円の寄付を受け増加しました。

**受取民間助成金等**  
東京都からの委託事業、赤い羽根福祉資金、キリン福祉財団の助成をいただきました。

**講師派遣**  
2022年度は計30回以上の講演を実施しました。Bytedance株式会社様から依頼を受けたサイバーセキュリティ月間啓発動画制作協力費も含まれています。

**給与手当**  
皆様からいただくご寄付のほとんどが、人件費・法定福利費に充てられています。性的搾取・デジタル性暴力の支援には高い専門性が求められます。少ないスタッフで相談窓口を運営しており、バーンアウトを防ぐためには、スタッフの増員、スタッフの待遇面の改善などが必須です。

**設備費**  
居場所支援の拠点にパーティションと扉を増設した際の費用です。

**業務委託費**  
スーパーバイザー2名の謝金、相談支援専門の弁護士への委託料、カウンセリングなどの謝金が含まれます。

**謝金**  
アウトリーチ参加、夜カフェの整備を手伝って頂いた利用者さんへの謝金などが含まれます。

**会議費**  
会議室を借りて相談者面談を行う際にかかる費用です。

**旅費交通費**  
面談・同行支援などの移動にかかる費用です。深夜・緊急性が高い場合はタクシーを使います。

**消耗品**  
アウトリーチ配布物、衛生用品、居場所や相談支援で使用する物品(例:ノートパソコン)などがあります。

**地代家賃**  
事務所・居場所拠点などの賃借代です。相談者の利便性の観点から毎月35万円ほどかかります。

**管理費**  
主に、事業実施に必要な経理・労務・法務・活動報告に関連する費用です。

**受取寄附金**  
事業実施のためには3000万円のご寄付が必要です。2024年1月18日現在、皆さまから1427万円のご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。**3月末までに残りは、1,573万円のご支援が必要です。**

**受取民間助成金等**  
東京都から委託が補助になり事業額が約500万円減額となりました。

**講師派遣**  
若年被害女性支援団体へのひぼう中傷などにより、講師派遣回数が激減しました。

**給与手当**  
利用者のニーズに応えるべく夜カフェを週2回から週5回に増加、宿泊施設を1部屋から5部屋に増室のため**専門スタッフを配置**。前年度より毎月100万円程度増加、今年度は5人のスタッフを増員し有給スタッフ29人で日々の支援に関わっています。

**業務委託費**  
人件費増加により業務委託費用を圧縮していますが、**宿泊施設の運営管理費用が増加**しています。

## 事業予算

現在の収入予定額	59,025,562
事業実施予定額	74,763,658
<b>不足額</b>	<b>▲ 15,738,096</b>
2024年1月18日現在	

**次期繰越正味財産額**  
主に運転資金です。助成元からの概算払いを受ける6カ月間は自己資金で実施するために最低でも6カ月分(毎月の事業費600万円×6月=3600万円)の運転資金が必要です。2023年度は必要額に満たなかったために**日本政策金融公庫から1000万円の緊急融資を受け、運転資金に充てています。**

# みなさまのチカラでぱっぷすを支えてください

いつもぱっぷすの活動を応援してくださってありがとうございます。

ぱっぷすが、性的搾取に巻き込まれた 3000 人以上の相談者をサポートし続けられるのは、多くの皆さまに「ご支援」という形でその思いを託していただいたおかげです。皆さまのご支援が、性的搾取の問題を解決する大きな力となっています。

昨年は性暴力被害相談が月 70~80 件ほどだったのが、月 180 件ちかく寄せられるようになりました。AV 出演被害防止救済法や刑法改正など、被害救済にむけた法整備やの性加害報道などの影響もあるのでしょうか。

相談支援は絶対に維持しなければなりません。力を貸して頂けると幸いです。

ぱっぷすには以下の 3 つの方法で寄付を募っておりますので、ご検討ください。

## 1. Amazon 欲しいもののリスト

- ・食物、お菓子、衣類、衛生用品、生理用品など必要なものをリストにしました。
- ・「こういうのが欲しい」「あれば助かる」という女の子の声を大事にしています
- ・「ナプキンが買えない」など、生理の貧困を目の当たりにしています
- ・安心できる場所、安全に休めること、大事にされた経験が彼女たちの力になります

以下のリンクからの応援をどうぞお願いいたします。

<https://amzn.asia/bsS0Yz5>



## 2 「単発寄付」をして、冬の寒さから女の子たちを守る



- ・アウトリーチと居場所提供（カフェ）は東京都の補助事業を受けて運営しています
- ・しかし、虐待や性被害などの困難を抱える若者が急増して活動費が足りません
- ・誹謗中傷や活動妨害などへの対応にも頭を悩まされています

以下のリンクからの応援をどうぞお願いいたします。

<https://www.paps.jp/supporter>



### 銀行口座

特定非営利活動法人ぱっぷす  
（トクヒ）パップス  
銀行名：ゆうちょ銀行  
店番：019  
口座種別：当座  
口座番号：0515783

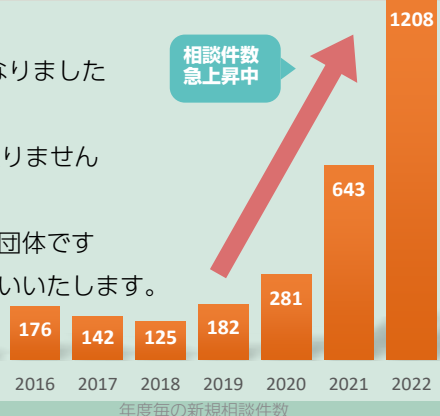
### ゆうちょ振替

00150-2-515783  
特定非営利活動法人ぱっぷす

## 3 「継続寄付」をして、デジタル性暴力の被害者支援を応援する

- ・2019 年には相談件数は 182 件 / 年でした
- ・2020 年は 281 件、2021 年は 643 件、2022 年度は 1208 件になりました
- ・2023 年度は 2000 件におよぶ見通しです
- ・急増する相談に対応するためには、今年度は 1573 万円の予算が足りません
- ・中高生からの相談も多く寄せられており被害の低年齢化が深刻です
- ・ぱっぷすは日本で唯一のデジタル性暴力の被害者支援を行う非営利団体です
- ・被害者への支援活動を維持するために、みなさまのお力添えをお願いいたします。

<https://www.paps.jp/supporter>



特定非営利活動法人ぱっぷす  
Organization for Pornography and Sexual exploitation Survivors : PAPS  
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-27-6-2F TEL:050-3186-4119 FAX:03-6304-2564  
HP: <https://paps.jp> MAIL: [paps@paps-jp.org](mailto:paps@paps-jp.org)